



Unified CVP のインストール

Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) DVD の CVP フォルダには、すべての CVP コンポーネントの設定ファイルが含まれています。Call Studio フォルダには、Call Studio の設定ファイルが含まれています。

Unified CVP ソフトウェアをインストールする必要があるのは、ローカル管理者のみです。



(注)

- Unified CVP をインストールする前に、http://www.cisco.com/en/US/products/ps7138/tsd_products_support_series_home.html のライセンス情報を参照してください。
- Reporting サーバに選択したサーバがワークグループに含まれていることを確認します。

- [仮想マシンでの Unified CVP のインストール, 1 ページ](#)
- [CVP Server のインストール, 2 ページ](#)
- [Operations Console のインストール, 3 ページ](#)
- [Remote Operations のインストール, 3 ページ](#)
- [Reporting サーバのインストール, 4 ページ](#)
- [Unified Call Studio のインストール, 5 ページ](#)

仮想マシンでの Unified CVP のインストール

はじめる前に

- Unified CVP の仮想化プラットフォームの ESXi に対する大規模な受信オフロード (LRO) をディセーブルにします。
- Unified Computing System (UCS) をインストールし、設定します。
- VMware ESXi をインストールし、起動します。

- ESXi が設定され、ネットワーク経由でアクセス可能であることを確認します。
- Open Virtualization Archive (OVA) テンプレート リンクを検出します。

手順

-
- ステップ 1 OVA テンプレートを使用して Unified CVP 仮想マシンを作成します。
 - ステップ 2 必要に応じて、CVP コンポーネントを選択します。
 - ステップ 3 Windows Server 2008 Standard R2 SP1 をインストールします。
 - ステップ 4 OVA テンプレートの展開時に、選択した CVP コンポーネントをインストールします。
-

CVP Server のインストール

Unified CVP の新規インストールには、メディア ファイルの U-law と A-law の両方のタイプの音声プロンプト エンコード形式が含まれています。デフォルトのアプリケーションも、メディア ファイルとともにインストールされます。要件に応じて、形式のタイプを選択します。

手順

-
- ステップ 1 Unified CVP インストール DVD の [CVP\Installer_Windows] フォルダから、`setup.exe` を実行します。
 - ステップ 2 使用許諾契約を確認し、同意して、[Next] をクリックします。
 - ステップ 3 [Select Package] 画面で、コンピュータにインストールする Unified CVP コンポーネントを選択し、[Next] をクリックします。
 - (注) Internet Information Server (IIS) は、Unified CVP によってサポートされるデフォルトのメディア サーバです。
 - ステップ 4 [Voice Prompt Encode Format Type] 画面で、次の選択オプションのいずれかを選択します。
 - U-law Encoded Wave Format
 - A-law Encoded Wave Format
 - ステップ 5 [X.509 Certificate] 画面で、必要な情報をフォームに入力し、[Next] をクリックします。
 - ステップ 6 [Install] をクリックします。
 - (注) 進行中はインストールをキャンセルできません。
 - ステップ 7 インストール直後にコンピュータを再起動するか、後で再起動するかを選択し、[Finish] をクリックします。
-

次の作業

[Operations Console のインストール, \(3 ページ\)](#)

Operations Console のインストール

Unified CVP の新規インストールには、Operations Console のインストールに必要なメディア ファイルの U-law と A-law の両方のタイプの音声プロンプト エンコード形式タイプが含まれています。要件に応じて、形式のタイプを選択します。

手順

-
- ステップ 1** [CVP Server のインストール, \(2 ページ\)](#) の手順のステップ 1～7 を実行します。
- ステップ 2** [Ready to Install the Program] 画面で、選択したコンポーネントを確認し、[Install] をクリックします。
- ステップ 3** [Ops Console Password 画面の [Password] フィールドにパスワードを入力し、[Password (for verification)] に確認のためにパスワードを再入力して [Next] をクリックします。
- (注) [Ops Console Password] 画面に一覧表示されているパスワード作成の基準を遵守します。
 - (注) Operations Console の管理者および Web サービス管理者 (wsmadmin) が Operations Console のパスワードを使用します。
- ステップ 4** インストール直後にコンピュータを再起動するか、後で再起動するかを選択し、[Finish] をクリックします。
-

次の作業

[Remote Operations のインストール, \(3 ページ\)](#)

Remote Operations のインストール

手順

-
- ステップ 1** [Operations Console のインストール, \(3 ページ\)](#) の手順のステップ 1～4 を実行します。
- ステップ 2** インストール直後にコンピュータを再起動するか、後で再起動するかを選択し、[Finish] をクリックします。
-

次の作業

[Reporting サーバのインストール, \(4 ページ\)](#)

Reporting サーバのインストール

手順

- ステップ 1** Reporting サーバが任意のドメインに含まれず、ワークグループに含まれていることを確認します。
- ステップ 2** [CVP Server のインストール, \(2 ページ\)](#) の手順のステップ 1 ~ 4 を実行します。
- ステップ 3** レポートデータベースのデータとバックアップデータを保存するルートドライブを選択し、[Next] をクリックします。
- (注) 400 GB 以上のサイズの E:\ ドライブ、またはセカンドドライブを選択してレポートデータベースのデータを保存し、データのバックアップを保管します。
- [Database Size Selection] 画面が表示されたら、次のオプションを指定します。
- [Standard] : 250 GB 以上の空きディスク領域が必要です。
 - [Premium] : 375 GB 以上の空きディスク領域が必要です。
- ステップ 4** 購入したライセンスに適切なデータベース サイズを選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 5** [Ready to Install the Program] 画面で、選択したコンポーネントを確認し、[Install] をクリックします。
- ステップ 6** [Reporting Password] 画面の [Password] フィールドにパスワードを入力し、[Password (for verification)] に確認のためにパスワードを再入力して [Next] をクリックします。
- (注) インストール後に、必要に応じて Reporting サーバをドメインに追加します。
- ステップ 7** インストール直後にコンピュータを再起動するか、後で再起動するかを選択し、[Finish] をクリックします。
-

次の作業

[Unified Call Studio のインストール, \(5 ページ\)](#) (任意)

Reportingサーバの仮想マシンでセカンドドライブをインストールします

手順

-
- ステップ 1 [My Computer] > [Manage] を右クリックします。
 - ステップ 2 [Storage] セクションで、[Disk Management] をクリックします。
 - ステップ 3 未フォーマットのパーティション（通常は [Disk 1]）を選択します。
 - ステップ 4 [Online] を右クリックし、ディスクを初期設定します。
 - ステップ 5 [Format] をクリックし、NTFS でフォーマットプロセスを続行します。
-

Unified Call Studio のインストール

手順

-
- ステップ 1 Unified CVP インストール DVD の CallStudio\Installer_Windows フォルダから、setup.exe を実行します。
 - ステップ 2 [Welcome] 画面で [Next] をクリックします。
(注) このページ、またはこのページに続く [Ready to Install the Program] 画面の前までのダイアログ画面で [Cancel] をクリックすると、インストールがキャンセルされ、[Exit Setup] ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 3 使用許諾契約を確認し、同意して、[Next] をクリックします。
 - ステップ 4 [Ready to Install the Program] 画面で、選択したコンポーネントを確認し、[Install] をクリックします。
 - ステップ 5 [InstallShield Wizard Complete] 画面で、[Finish] をクリックします。
-

Call Studio ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。

